

交通係より

教室掲示

自転車通学の皆さんへ：自分の「命」と「未来」を守るために

毎日の通学、お疲れ様です。 皆さんのが安全に登校できることは、学校にとっても、皆さんの家族にとっても一番大切なことです。しかし、慣れた通学路こそ「油断」が潜んでいます。以下の2点を改めて徹底しましょう。



1. 「一時停止」は、命の境界線です。

- 「止まれ」の標識では、必ず足を地面について止まる。「徐行」と「停止」は違います。見通しの悪い交差点では、車からは皆さんの姿が見えていないかもしれません。
- 「たぶん大丈夫」が事故を招く。交差点に進入する前の数秒の停止が、一生を左右する事故を防ぎます。



2. ヘルメットは、あなたを守る「最強の装備」です。

- 努力義務化されています。法律でも着用が求められていますが、それ以上に「自分の頭（命）を守るために」に着用しましょう。
- 万が一の時、生死を分けるのはヘルメットの有無です。自転車事故による死亡原因の多くは「頭部損傷」です。大切な未来を守るために、正しく着用しましょう。

渋高南東交差点の見回りをした教員からの一言

- 校門付近でのヘルメット着用率は、県下では類まれにみる低さと思われます。命を粗末をしないように！！
- 車の運転と同じく、「(来ない) だろう」運転ではなく、「(来る) かもしれない」運転で自分の身を、自分の将来を守りましょう！
- 事故を起こさないのはもちろん、「お互いに危ない思いをしない」ような交通行動をとりましょう。先生や親がそばについていてあげることはできません。他でもない君自身が、正しい判断ができる人になります。
- 今回の見回りを通して、交通ルールを教員が見ているから守るのではなく、見ていなくても守れるようになります。
- 毎日通う当たり前の通学路でも、日々状況は異なるものです。安心はいつも言われるように家に着くまでです。卒業まで楽しく通学できるかは皆さん自身にかかっています。
- 一時停止、ヘルメット着用は命を守るために必要なことです。ルールにあるから守るのではありません。常に意識をして、安全な高校生活が送れるようにしてください。
- 高校生の自転車死亡重症事故において、加害（死傷させた）原因の第2位（約22%）が一時不 停止です。被害（亡くなつた）における死因の6割は頭部損傷ですが、ヘルメット着用により死亡率を1/3に抑えられます。